

平成28年度 第2回全体庁議（4月12日開催）

区分	審議・ 報告	案件名 (担当部)	(2) 空家等の現地調査の結果について [都市建設部]
----	---------------	--------------	-----------------------------

■ 提案・報告の趣旨

市内の空家等の状況を把握し、所有者の意向調査や(仮称)帯広市空家等対策計画の策定及び空家等に対する施策の検討の参考資料とするため、現地調査を実施したことから、調査結果を平成28年4月21日の建設文教委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1. 調査の概要

空家等の状況を把握するため、市内全域を対象に1年以上水道が使用されていない空家等と想定されるものについて、平成27年8月から平成28年1月にかけて職員が現地に赴き、建物・敷地の状況を目視により、A・B・Cの3段階で判定を行った。

【判定の方法】

- ・A 問題がない
- ・B 建物が一部破損・樹木などが管理されていない
- ・C 建物が大きく破損・樹木の枝などが通行に支障あり

2. 調査の結果

- ・現地調査の結果、空家等と判断したものは1,093箇所、市内総数に対する割合は1.65%
- ・空家等の内、判定Aは984箇所、判定Bは92箇所、判定Cは17箇所
- ・地区別の空家等率は、最高が東地区の3.04%、最小が西帯広地区の0.64%
- ・建築後の経過年数は、30年以上のものが985箇所(90.12%)、B及びCと判定したものは108箇所(9.88%)
- ・用途別は、居宅が一番多く880箇所(80.51%)
- ・構造別は、木造が一番多く995箇所(91.03%)

■ 今後のスケジュール

- ・平成28年度は、意向調査や(仮称)帯広市空家等対策計画を策定
- ・平成29年度から施策を実施

■ 審議結果

- ・同内容で、4月21日建設文教委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

- ・特になし